

# あすなろ

No. 9 平成30年9月5日

## 全国学力学習状況調査の結果から

校長 日吉 美矢子

4月17日に実施した全国学力・学習状況調査の結果が出ました。この調査は、学習指導要領で示された内容が、どの程度身に付いているかを把握し、学習状況との関係から子どもたちへの学習指導の改善や充実に役立てるのが目的で行われています。この調査は、学力の一部を測定するものです。正答率をもって他校との比較をするためのものではありません。

静岡県では、早期対応をするために自校採点をし、その結果を踏まえて、指導内容や指導方法の工夫改善に取り組んできました。

全国の状況がまとまりましたので、本校の状況をお知らせします。なお、今回の結果を受けて、改めて指導内容の見直しや指導方法の改善につなげていきます。

〈3教科の全体的な状況〉 ☆ (0～5未満上回る) ☆☆ (5～10未満上回る) ☆☆☆ (10以上上回る)

- ・国語A (主として知識) の平均正答率は、全国、県とも大きく上回りました。(☆☆)
- ・国語B (主として活用) の平均正答率は、全国、県とも大きく上回りました。(☆☆)
- ・算数A (主として知識) の平均正答率は、全国、県とも大きく上回りました。(☆☆)
- ・算数B (主として活用) の平均正答率は、全国、県とも大きく上回りました。(☆☆☆)
- ・理科の平均正答率は、全国、県とも上回りました。(☆)

〈問題別正答率〉全国との比較 (表)

	下回る		上回る	
	5ポイント以上	0～5ポイント未満	0～5ポイント未満	5ポイント以上
正答率の差	5ポイント以上	0～5ポイント未満	0～5ポイント未満	5ポイント以上
国語A (全12問)	0問	0問	2問	10問
国語B (全8問)	0問	0問	2問	6問
算数A (全14問)	0問	1問	2問	11問
算数B (全10問)	0問	0問	1問	9問
理科 (全16問)	2問	0問	8問	6問

※表の見方

算数Aは全部で14問あり、それぞれ全国の平均正答率と比較して、5ポイント以上正答率が上回っている問題は11問、0～5ポイント未満上回っている問題は2問、0～5ポイント未満下回っている問題は1問、5ポイント以上下回っている問題は0問である。

全体として、上の表から分かるように、全60問中57問が全国平均を上回りました。また、全国平均を5ポイント以上、上回った問題が42問あり、大変よくできていました。

〈国語Aについて〉

すべての問題で、全国・県の正答率を上回り、よくできていました。表にからも分かりますが、全国平均を大きく(5ポイント以上)上回る問題が12問中10題もあり、平均正答率は全国を8.3ポイント上回りました。全体的によくできていましたが、「漢字を書く」問題の中では、「せつ極的」(積極的)が、平均は上回りましたが書けていませんでした。また、文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書き直す問題ができていませんでした。(誤：反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。→正：反省点は、用具の手入れをあまりしなかったことです。)

### 〈国語 B について〉

すべての問題で正答率は、全国・県ともに上回り、よくできていました。平均正答率も全国を 7.3 ポイント上回りました。表からも分かりますが全国平均を大きく（5 ポイント以上）上回る問題が 8 問中 6 題もありました。平均は上回ったものの正答率として低かったのは、目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く問題と目的に応じて複数の本や文章などを選んで読む問題でした。

### 〈算数 A について〉

正答率が 16 問中 15 問で全国の上回り、平均正答率は、全国を 9.5 ポイント上回りました。正答率が全国を下回った 1 問は円周率を求める式として正しいものを選ぶ問題でした。（県の正答率は全問で上回っていました。）（正答：ウ 円周の長さ÷直径）

### 〈算数 B について〉

全ての問題で正答率が全国・県ともに上回り、平均正答率は、全国を 10.5 ポイント上回りました。全国、県平均を上回ったものの、正答率が低かったのは、棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを適切に判断する問題でした。（正答：棒グラフからは、あいさつに取り組んだ人数がいちばん少ない学年「1・2年」を読み取り、帯グラフからは、あいさつに取り組んだ「1・2年」の人数の割合がいちばん「大きい」ことを読み取る。）

### 〈理科について〉

正答率が 16 問中 14 問で全国の上回り、平均正答率は、全国を 3.7 ポイント上回りました。全国の平均を下回ったのは、「腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く問題」（正答：関節「かんせつ」）と「流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ問題」（正答：1 たい積）でした。全国平均を上回りましたが、実験結果を基に分析して考察して、文章で表現する問題は、正答率が低かったです。（正答例：2 本のペットボトルの水を同時に流して、水を増やすと、みぞの曲がっているところの外側と内側の両方とも棒がたおれたから。）

### 〈今後の対応〉

国語では、漢字の読み、書きは、漢字の持つ意味を考えながら、文章の中で正しく使えるよう引き続き指導し、家庭学習でも計画的に行い定着を図ります。目的や意図に応じて、読んだり書いたりする力を付けるために、教科書、インターネット、本などの資料を活用して、資料を基に自分の考えを書いたり、仲間と伝え合ったりする学習を計画的に行っていきます

算数では、日常生活の場面の中から児童にとって必要感のある場面を取り上げ、問題を解決する学習を充実していきます。また、問題場面を図、表、数直線など様々な方法で表現したり、式から問題場面を考えたりする学習を取り入れることで、公式や計算の意味についての理解を深めていきます。目的に応じて資料をグラフで表現したり、グラフから必要なことを読み取ったりする学習を計画的に行っていきます。

理科では、日常生活における疑問と関連付けて、子どもが課題解決に主体的に取り組めるようにします。一人一人が実験や観察を通して、結果を分析し考察する時間を確保し、根拠を基に自分の考えを伝え合う学習を意図的に取り入れることで、科学的な見方や考え方を高めていきます。

### 〈児童質問紙から〉（生活や学習に関するアンケート）

全国・県に比べほとんどの項目でよい結果でした。「自分には、よいところがある。」（本校 88.9、国 84）、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている。」（本校 95.9、国 85.3）の 2 項目から自己肯定感が高いことが分かります。また、「学校のきまりを守っている。」（本校 94.2、国 89.5）「いじめは、どんな理由があってもいけない。」（本校 99.4、国 96.8）の 2 項目からは、規範意識の高さや道徳面での成長がうかがえます。また、「人の役に立つ人間になりたい。」（本校 96.5、国 95.2）という項目も高い評価で、よかったです。

他にも就寝時刻や朝食の摂取、家庭学習などに関する質問もあり、アンケート結果から、基本的な生活習慣が身に付いていることがわかりました。今後も御家庭での御協力をよろしくお願いいたします。